

平成27年5月29日

鹿児島県議会議長
池畑 憲一 殿

日本共産党県議団
代表 まつざき 真琴

事業実績報告書

平成27年4月度の政務活動費に関する主な事業の実施状況は次のとおりです。

1 事業実績概要について

前年度から引き続き、川内原発再稼働の問題や集団的自衛権の問題など、国政、県政にかかわる重要な問題について、会派の見解を訴えながら、広く県民の意見を聴取することに努めた。

また、県の新たな施設について、現地に赴いて見学し、説明を受けた。

その他、図書購入や資料購入により、広く情報収集に努めた。

2 事業実績内容について

(1) 調査研究活動

年 月 日	場 所	参加人員	内 容
27年4月16日	大隅加工技術センター	1人	大隅加工技術センターの施設の概要について、現地で見学し、説明を受けた。
27年4月17日	鹿児島聾学校	1人	県立鹿児島聾学校の施設について、現地で見学し、説明を受けた。
27年4月22日	県民交流センター	1人	川内原発差止仮処分の却下について、弁護団や住民の意見を聴取した。
27年4月28日	武岡台高校	1人	生徒の安全を守るための保護者との連携等について、意見交換を行った。

(2) 広聴広報活動

昨年度から引き続き寄せられている県政アンケートを

集計・分析し、県民意識の把握に努めた。また、川内原発再稼働や集団的自衛権の問題について、宣伝カーやハンドマイクで会派の考えを訴えながら、広く県民の意見を聴取することに努めた。

(3) その他

県政上の課題や問題点、さらに国の制度についての理解の把握のため、参考となる資料や書籍等の購入を行った。

調査研究のための事務局員を雇用し、インターネット等での情報収集や発信に努めた。

また、情報や資料整理・保存のために事務用品を購入し、作業の効率化に努めた。

3 事業の成果について

特に川内原発問題や集団的自衛権の問題などについて県民の意見や要望を把握することができた。

県政アンケートの集計・分析を行い、県民の県政の課題に対する意見・要望を把握することができた。